

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

令和4年度 池田支援学校美馬分校「学力向上実行プラン」

池田支援学校長 喜馬久典

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭	喜馬久典 野崎明美
学力向上推進員	教諭 高等部長	佐藤玲子
委員	教諭 教育総務課長 教諭 学校生活課長 教諭 総合支援課長	長尾裕子 宮本小百合 中 李佳

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

(高等部) 生徒の状況		
よさ	作業学習での評価記録表により, 自分の課題や頑張りを自己評価する機会が増え, 自分を見つめる目が育ってきた。	課題 学校生活に不安を感じたり, 学習活動に自信が持てなかったりする生徒がおり, 特に1年生に多く見られる。自己肯定感・自己有用感を高め, 主体的に活動に参加し, 社会生活で自分の役割を果たす力の基礎を築く。
具体的目標(目指す子どもの姿)		達成状況
①様々な地域貢献活動を通して, 地域に役立つ行動を考え, 計画し, 実践できる力をつける。 ②作業学習で, 自分の目標に向き合い, 「できた」事を重ねて, 自分に自信を持つことができる。		①お接待やみまの日, 作業学習での地域貢献活動で, 活動前と後で取り組みの意欲が向上した割合が80%以上となる。 ②作業学習では学年末の自己評価が当初の評価よりも高くなっている割合が80%以上となる。 ----- 評価 B
具体的方策(教員の取組)		取組状況
①生徒の実態や地域との関連を考慮して, 作業学習の枠組みや指導内容を精選する。 ②評価記録表を改良し, ポジティブな行動評価の欄を加え, 学習意欲の向上を図る。 * 中間期の見直し		①作業学習の内容を精選し, 地域貢献につなげる教材を開発する。 ②改良した評価記録表を用い, 生徒の意欲向上につながる評価支援を行う。 ①生徒の実態に合わせた作業学習の枠組みを改め, 新しい作業種にも取り組んだ。 ②評価記録表の改訂により, 生徒が自分の具体的な目標を確認し, 授業後に教員が, できたこと, もっと頑張るところを示すことで, 生徒の意欲向上につながった。
達成状況を踏まえた改善事項		
生徒の実態が大きく変わってきたため, 授業の組み方を再検討する。 新入生の実態把握期間を設け, 実態に応じた学習活動を展開していく。 地域貢献活動については, 意欲の向上に加え, 各活動で身につけさせたい力を明確にし, 生徒にも示しながら効果的な取り組みを計画・実践していく。		